

# 佐賀県の地震活動概況 (2023年7月)

令和5年8月4日  
佐賀地方気象台

## 【7月の地震活動概況】

7月に佐賀県内で震度1以上を観測した地震は1回(下図領域外)でした(6月は0回)。

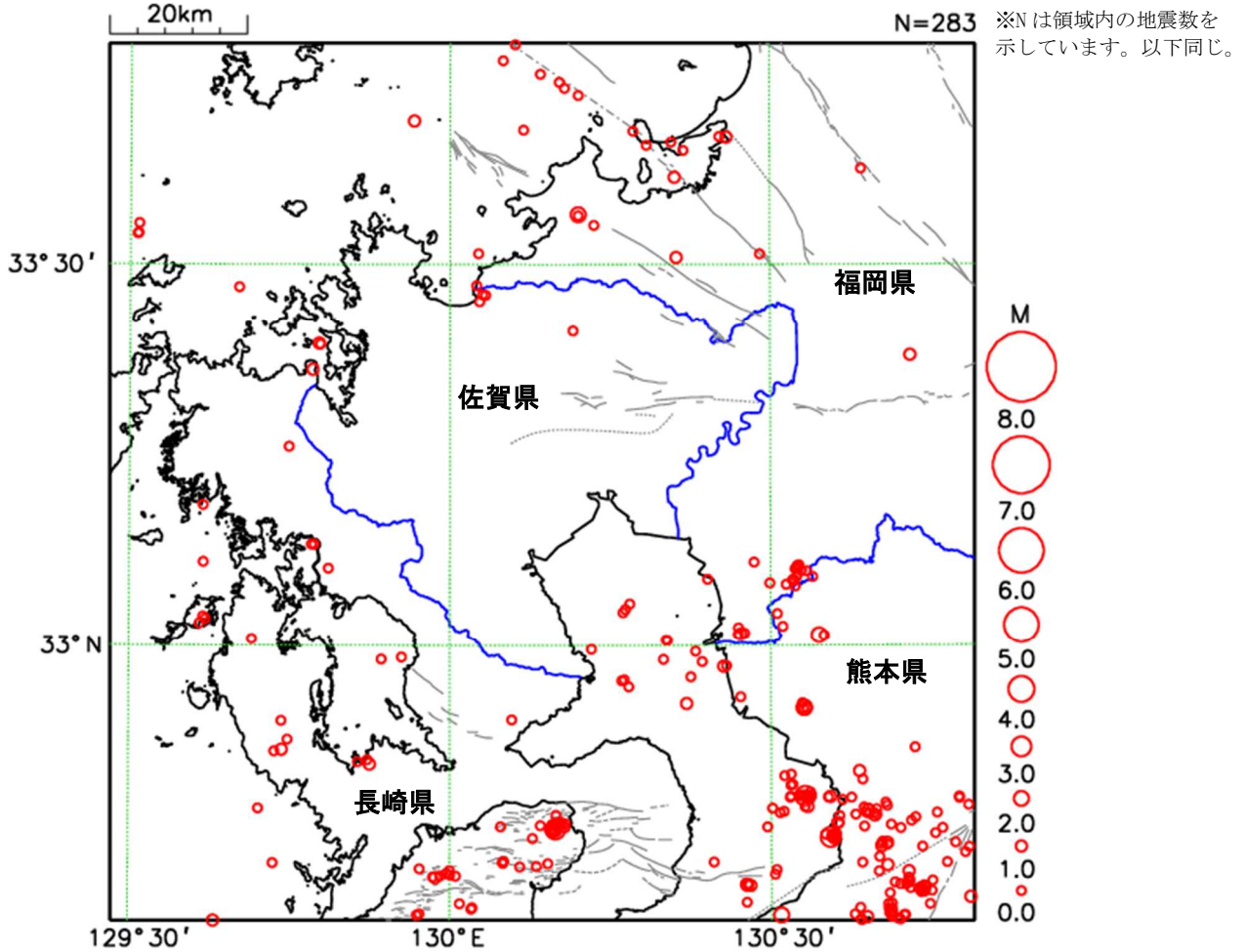


図1 震央分布図 (2023年7月1日~31日、深さ30km以浅、M $\geq$ 0.0)  
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

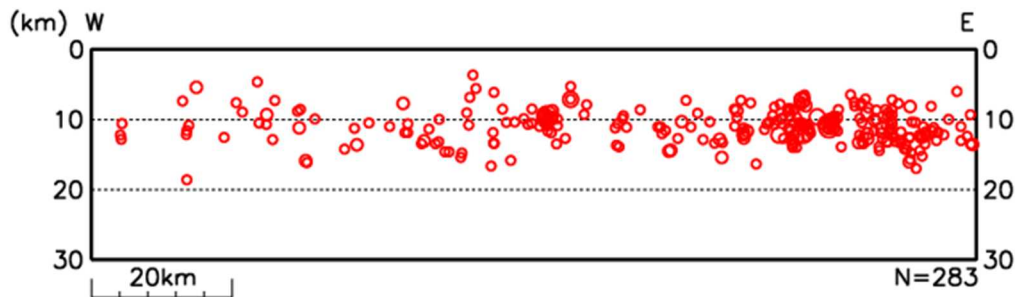


図2 断面図 (2023年7月1日~31日、深さ30km以浅)  
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

## 日向灘（1頁震央分布図領域外）

22日21時14分に日向灘でM5.0の地震（深さ37km）が発生し、大分県佐伯市、高知県宿毛市で震度4を観測したほか、九州地方、中国地方、四国地方で震度3～1を観測しました。佐賀県では、神埼市で震度2を観測したほか、佐賀市、白石町、みやき町などで震度1を観測しました（表1、図3）。

今回の地震の震源付近（図5領域b）では、2022年1月22日にM6.6の地震（深さ45km）が発生し、大分県大分市、宮崎県延岡市などで震度5強を観測しました。佐賀県では、佐賀市、白石町などで震度4を観測したほか、広い範囲で震度3～1を観測しました（図4～図6）。

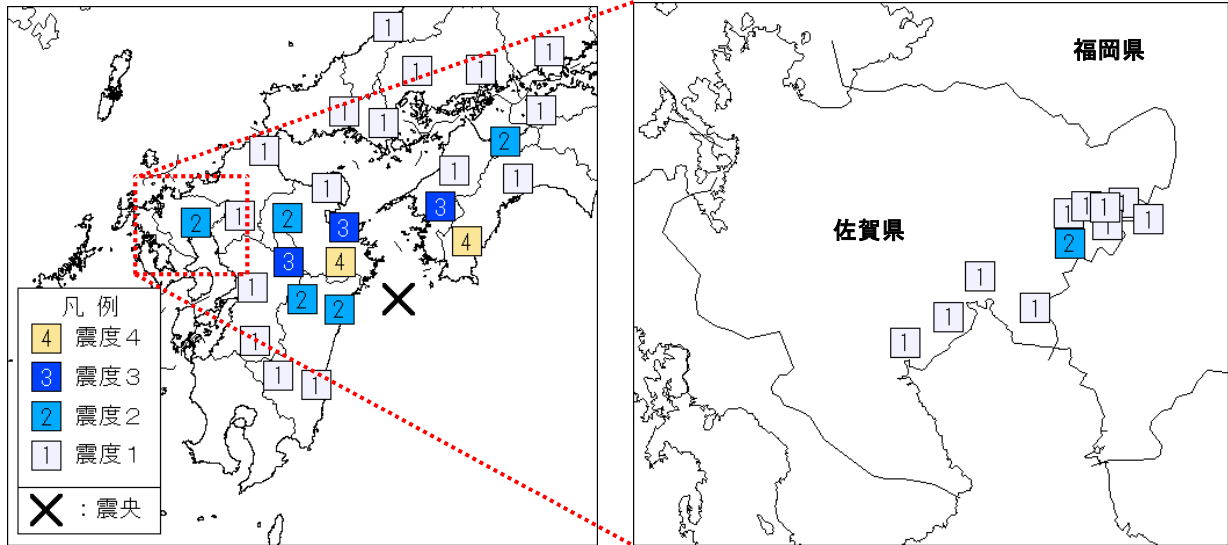


図3 震度分布図 22日21時14分 M5.0  
(左図は地域別、右図は観測点別)

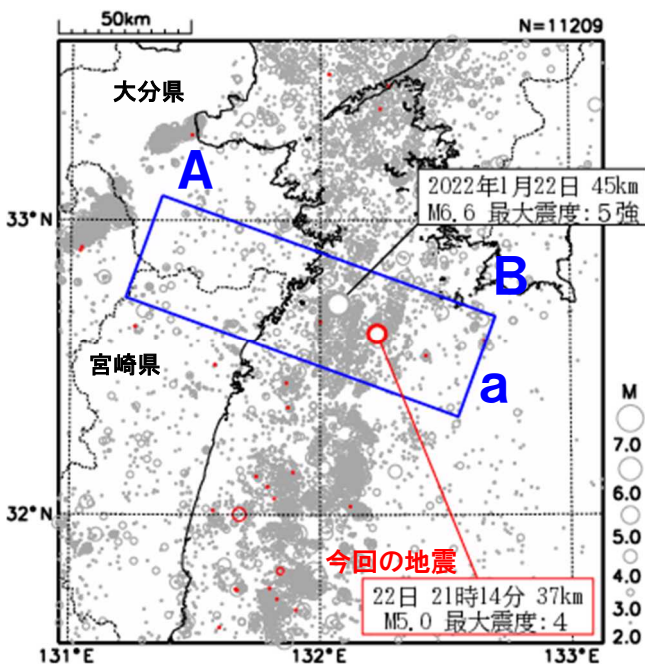


図4 震央分布図

(1997年10月1日～2023年7月31日、  
深さ0～100km M $\geq$ 2.0)

※2023年7月1日以降の地震を赤色で表示

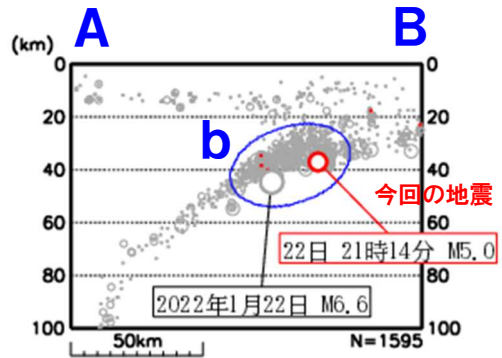


図5 図4領域a内の断面図（A－B投影）

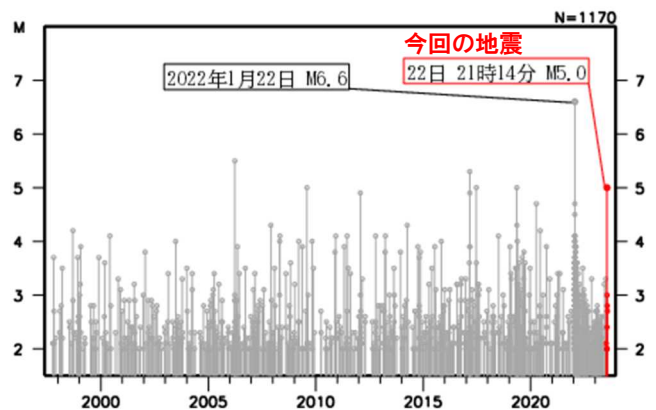


図6 図5領域bの地震活動経過図

表 1 佐賀県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震 (2023 年 7 月 1 日～31 日)

地震発生日時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
7 月 22 日 21 時 14 分	日向灘	32° 36.9' N	132° 13.6' E	37km	M5.0
佐賀県	震度 2 : 神崎市千代田*				
	震度 1 : 佐賀市久保田*, 佐賀市川副*, 上峰町坊所*, 白石町福富*, 白石町有明*, みやき町三根*, みやき町北茂安*, 吉野ヶ里町三田川*, 神崎市神埼*				

- ・「\*」の付いた地点は、佐賀県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
- ・地震の震源要素 (緯度・経度・深さ・M) は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

## 「防災の日」と「防災週間」

～いつかくる災害に備えて～

9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」です。

本期間は、国や防災関係機関をはじめ広く国民が、地震や津波等の災害についての認識を深め、これに対する備えを充実強化し、災害の未然防止と被害の軽減に資する目的で設けられています。

この機会に、身近で起こり得る災害を再確認するとともに、日頃からの備えや大きな地震が起こった時のとるべき行動を確認するようにしましょう。

### ○日頃からの備え

地震への日頃からの備えには、「家具の固定や配置の見直し」「水や食料等の備蓄」「避難場所や避難経路の確認」「建物の耐震診断や耐震化」などがあります。

自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう。



### ○とるべき行動

地震による強い揺れを感じた時や緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずに身の安全を図りましょう。具体的な行動は周囲の状況によって異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。

地震の揺れを感じたら …

緊急地震速報を見聞きしたら …

## あわてず、まず身の安全を!!

**家庭では**

- ◇ 安全スペースに避難
- ◇ 頭部を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難
- ◇ あわてて外へとびださない
- ◇ 無理に火を消そうとしない

**屋外(街)では**

- ◇ ブロック塀などの倒壊に注意
- ◇ 看板や割れたガラスの落下に注意

**エレベーターでは**

- ◇ 最寄りの階に停止させ、すぐに降りる

**鉄道・バスでは**

- ◇ つり革・手すりにしっかりつかまる

その他の行動例や緊急地震速報については気象庁のホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nc/koudou/koudou.html>